

経済活動は強弱入り交じる、まだら模様が 続く中国景気

ポイント① ゼロコロナ政策下の反動を注視

中国国家統計局が15日に発表した、10月の主要経済指標によると、鉱工業生産指数は化学品や自動車などの伸びが寄与し、前年同月比+4.6%、小売売上高については、外食、自動車などの品目が増加となり、前年同月比+7.6%と、両指標とも9月から上昇しました。ただし、比較年である前年がゼロコロナ政策下で低調だった影響もあるので、今後も注視する必要があります。

ポイント② 1兆元の景気対策効果に注目

同日発表された1-10月分の固定資産投資は前年同期比+2.9%と、1-9月分より0.2%減速しました。不動産投資は同▲9.3%となった一方、インフラ投資は同+5.9%、製造業投資は同+6.2%と、強弱入り交じる結果となりました。中国政府は10月下旬に景気対策として、1兆元（当時の為替レートで約20兆5,000億円）の国債増発を打ち出し、調達資金の用途を地方政府の災害復興のための交通や通信などのインフラ整備としています。これにより、インフラ投資への積み増しが期待されています。

ポイント③ 米中は関係安定の重要性で一致

現地時間15日、1年ぶりに米中首脳会談が開催されました。会談では両国の関係安定の重要性で一致し、軍事衝突への発展などの更なる関係悪化を防いだことに加えて、気候変動問題のような合意しやすい分野で一定の成果がありました。一方、先端半導体関連の輸出規制問題などには進展はなく、この分野での問題解決には時間を要する結果となりました。中国景気は、当面まだら模様が続きます。

中国の鉱工業生産指数と小売売上高



期間：2019年1月～2023年10月、月次
(出所) Bloombergより野村アセットマネジメント作成

中国の固定資産投資（年初来累計）



期間：2019年1月～2023年10月、月次
上記は、農家計を除く。
(出所) Bloombergより野村アセットマネジメント作成

重要 イベント

- 11月30日 中国製造業/非製造業PMI（購買担当者景気指数、11月）
- 12月7日 中国貿易収支（11月）